

議 事 録

		作成	馬淵さち子	承認	
会議名	一宮の財政を学ぶ住民の会（仮称）第二回会合				
日 時	平成 19 年 2 月 25 日（日） 13:30～17:00	場所	一宮町公民館 生活研修室		
出席者	発表者：藤乗一由・馬淵昌也 司会：藤乗一由 参加者計：20 名				
配布資料	①「第一回長生郡市合併協議準備会 会議資料のうち 長生郡市合併協議準備会会則」 ②「第二回長生郡市合併協議準備会 会議資料（抜粋）」 ③「長生郡市合併協議に関する議員説明会 配布資料」 ④藤乗一由作成「長生郡市合併協議準備会第一・二・三回の合意事項及び会議内容概略」 ⑤馬淵昌也作成「（一宮町町長宛）「合併に関する町長の意見を伺う一宮町民の会」への参加のお願い」 ⑥同上「（一宮町町長宛）「合併問題に関する町長の意見を伺う一宮町民の会」企画書」 ⑦同上「（一宮町民の皆様宛）「合併問題に関する町長の意見を伺う一宮町民の会」のご案内」 ⑧同上「議員説明会における質疑及び意見交換の状況の概要」 ⑨馬淵昌也・藤乗一由作成「一宮町町づくりプラン（試案）」 ⑩資料請求・お問い合わせのお知らせ				
内 容				備 考	
1. 「議事次第」 （1）会の名称及び位置付けについて （2）合併問題について （3）チャリティーバザーについて （4）今後の方針について（規約・会員登録・今後の進行方向等について） （5）町づくりプランについて （6）その他 ※前回（1月17日）の会合において、今回の議題を「一宮町財政の経年的変化の様相について」としたが、現在、長生郡市合併準備会が急速なピッチで進んでいる現状から、急遽議題を「長生郡市の合併問題」と変更した（注1）。 （注1）議題変更に関しては、世話人会全員の賛同を得た。					
（1）会の名称及び位置付けについて（馬淵昌也） ①名称 現在当会には会規もなく会員登録もされておらず、前回選出された世話人会（注2）のみが存在する状態である。そこで、世話人会において議し一致した合意のもと、会の名称を「一宮町の財政を学ぶ住民の会（仮称）」から、「ICHINOMIYA PUBLIC					

SERVICE ACADEMY(一宮パブリック・サービス・アカデミー)」とした。「PUBLIC SERVICE ACADEMY」は、元来アメリカの大学の名前で、公共サービスを本来の意味のもとで学ぶための学校の名前である。当会は、住民の立場で公共のサービスを学び実践していくことを目的とすることから、民間の団体ではあるが、この名前を選択した。

(注2) 前回、了承を受けた世話人の中で、齋藤繁美氏が会計を担当することになった。齋藤孔久氏は、一宮町選挙管理委員補充員に当選されたことから、世話人を退かれた。

②会の位置付け

当会は、当初平成18年10月の一宮町議会議員選挙にあたり催された「一宮町民の、候補者をする集い」を主催した「立候補予定者公開討論会を進める会」・「一宮町の明日を考える住民の会」のうち、「一宮町の明日を考える住民の会」の一ブランチとして発足した。しかし、この会には、現在のところ、会規や正式な会員登録などがない。当会では、今後会規の設定や会員登録を制度的に進めていくことから、将来的に「一宮町の明日を考える住民の会」と制度的に不整合を生じる可能性がある。よって、世話人会の一致した意見のもと、当会は「一宮町の明日を考える住民の会」とは切り離し、独自の会として運営を行っていきたい。

<意見・要望など>

・一宮の財政を学ぶことをから出発した会だと考えるが、今後財政の勉強はどうなっていくのか？(齋藤満氏)



財政の問題を会の根幹についていくことに変わりはない。財政勉強を基礎として、またこれと平行して町の大きい問題である合併問題や町づくりについて考えていきたい。今後の議題は、来聴の方々の希望を伺いながら、世話人会での決議を通して決定していく。(馬淵昌也)

・会の名称に関して、一宮の町の土壌に根付くものかどうか疑問である。(三谷宏氏)



一宮の古くからの住民の方の意見を参考にした。今まで、選挙のたびに「～を考える住民の会」というような名称の会が立ち上がったが、みな濃厚な政治的文脈を帯びたものだった。当会が党派性を有しないことを原則とする上では、むしろ政治色のない英語を用いた名前のほうがよいだろうとの意見からこの名称を選択した。(馬淵昌也)

・会の名称が難解すぎる。名称決定に民主的な手続きが行われていないのではないか。(堀内正範氏)



現在、当会は会員登録もなく会規がなく、世話人会しかない任意の団体である。会規決定・会員登録後であれば、会員の合議を経るべきであろうが、それが無い以上、世話人会で決定せざるを得ない。今回の名称決定にあたっては世話人会全員の賛成を

得ているものであり、民主的に必要な手続きを経ていると考える。しかし、名称に関して違和感を感じる方がおられるのならば、再度世話人会に図ることとする。

(2) 合併問題について

- ①「合併問題に関する町長の意見を伺う一宮町民の会」(当会企画)について
－「合併問題に関する町長の意見を伺う一宮町民の会」企画の趣旨と経緯(馬淵昌也)

現在、合併問題が急ピッチで進行している。関係市町村の首長・議長による準備会が4度にわたって開かれているが、一般の町民にはなかなかその状況を知りえない状態である。そこで、一宮町民として町長である近藤直氏から直接合併についてのお話を伺う会を企画し、町長に「合併問題に関する町長の意見を伺う一宮町民の会」への参加のお願い(資料⑤)と、「合併問題に関する町長の意見を伺う一宮町民の会」企画書(資料⑥)をお届けし、会へのご参加をお願いした(平成19年2月6日)。書類に目を通して頂いたところ、町長から参加の承諾を頂いたので、一宮町区長会を通して一宮町全町民の方々にお知らせする準備に入り、回覧文(資料⑦)を作成した。しかし、その後(2月6日午後)、町の職員の方から「再度熟慮したい」旨の申し入れがあり、結局、公開の場に出向くことは難しいが、個人的な会合であれば出席される旨の連絡をいただいた(2月7日朝)。当会としては、個人的な会合であると、人数が制限され人選を余儀なくされることから、公平性や透明性の原則から逸脱することを危惧して、この個人的な会合の開催をお断りさせていただいた。

- ②第1・2・3回合併協議準備会の流れと概要(藤乗一由)

- ③「長生郡市合併協議に関する議員説明会」(平成19年2月5日)における質疑及び意見交換の状況の概要(馬淵昌也)

※資料⑧及び当日の報告は、発表者・馬淵昌也の個人的なメモに基づくもので、公認された資料に基づくものでないために、不正確な部分が含まれることを明記する。

<当会の合併問題に関する今後の方針>

今後、3月の定例議会或いは臨時議会で、法定協議会の立ち上げが議題に上ることが予想される。そうした状況のなかで、世話会のなかでも、今後の方向性について議論がわかれており、また規約も会員登録もない状態で、一つの方向に向かって今すぐに行動することは難しい。しかし、今後の推移を見守りながら、世話会での合議に基づいて、もし法定協議会が立ち上がったとするならば、「住民による合併勉強会」などを連続的に開催するようなことも考えていきたい。(馬淵昌也)

<質問・意見>

・現状から考えると、こういった合併問題を考える会は、他の市町村でも同時多発的に行われているだろう。「一宮町の明日を考える住民の会」でも、県の動きと同時進行で活動し、今後、住民側からの発言も行っていく。3月8日には、旧合併協議会の法定協議会のメンバーであった方々や、長生村・睦沢町・一宮町の各「考える会」で

資料⑤・⑥・
⑦参照

資料①・②・
④参照
資料③・⑧参照

会合を持つ。そういった他の会の動きも注意深く見守りながら、活動を行って欲しい。

(堀内正範氏)

↓

ぜひとも、そうしていきたい。現状においては、町民全体が合併についての正確な情報をより多くもち、判断材料にすることが重要だと考えている。当会では、そのお手伝いをしたい。これから合併に進んでいく動きのなかで、住民が発言する機会がないままに推移するのではないかと危惧しているが、もし発言する場があれば、そのなかでの活動方法を考えていく。(馬淵昌也)

・今後、合併問題や町づくりを考えていくうえで、次回平成19年3月の町議会に提出される「一宮町の三ヵ年計画」が重要な意味を持つ。これを踏まえながら、活動を行っておくべきであろう。また、当会は発足したばかりで、多くの方々に当会の運営方針などを共通に理解してもらうところに至っていない。今後とも多くの方々からの意見を参考にしながら、進めていくべきである。(世話人監査・板倉正氏)

・「一宮町の明日を考える会」では、周辺町村の首長との何度にも渡る会合の経験をもつ。今後も積極的に首長たちと面談して意見を述べるとともに、町民の方たちとの輪を広げながら活動をしていく。(堀内正範氏)

・合併に関しては、茂原市の財政が大きな問題である。合併準備会のなかで、茂原市の財政についての説明があるが、わかりにくいので、今後、これについて解説してほしい。(朝比奈時子氏)

↓

次回以降の課題とする。また、長生郡市内には、その他多くの問題がある。これを、すべて世話人が中心になって研究することは難しい。今後、分科会などを有志の方々に立ち上げていただき、報告などを行っていくような形態をとっていきたい。(馬淵昌也)

※その他数名の方より、当日の議題の変更に関するご意見を頂戴した。今後は、必ず事前に皆さんに議題をお知らせして、ご迷惑をおかけしないようにすることをここに明記する。また、今回合併問題を議題に取り上げたことは、合併問題が一宮町の財政や町づくりに甚大な影響を及ぼすものと判断したからであり、今後とも、町の財政問題を考え研究していく姿勢には変わりはない。そして、その上で、よりよい町づくりについても考えていくこととしたい。(世話人会)

※議題(3)～(6)は、時間の関係で今回は取り上げることができなかった。次回以降にこれらの議題を取り上げる。

(3) 次回の会合の日程

日時：3月25日(日)

場所：一宮町公民館 生活研修室

議題：世話人で検討した後、皆さんにご報告する。

以上